



2024年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年8月8日

上場取引所 東

上場会社名 アイダエンジニアリング株式会社

コード番号 6118

URL <https://www.aida.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 鈴木 利彦

問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員 管理本部長 (氏名) 鶴川 裕光 (TEL) 042 (772) 5231

四半期報告書提出予定日 2023年8月8日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第1四半期の連結業績(2023年4月1日~2023年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第1四半期	16,867	23.4	671	—	748	—	473	—
2023年3月期第1四半期	13,665	4.5	△121	—	△117	—	△175	—

(注) 包括利益 2024年3月期第1四半期 2,522百万円(—%) 2023年3月期第1四半期 △27百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第1四半期	7.93	7.92
2023年3月期第1四半期	△2.94	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年3月期第1四半期	118,397	78,648	66.4	1,315.31
2023年3月期	116,287	78,043	67.0	1,305.47

(参考) 自己資本 2024年3月期第1四半期 78,557百万円 2023年3月期 77,951百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	—	—	30.00	30.00
2024年3月期	—	—	—	—	—
2024年3月期(予想)	—	—	—	30.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日~2024年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	36,000	11.9	2,350	228.0	2,450	210.4	1,800	263.1	30.14
通期	72,000	4.7	4,700	205.2	4,900	186.5	3,600	177.9	60.29

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は添付資料 7 ページ「(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項」の「(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

2024年3月期1Q	69,448,421株	2023年3月期	69,448,421株
------------	-------------	----------	-------------

② 期末自己株式数

2024年3月期1Q	9,723,311株	2023年3月期	9,736,558株
------------	------------	----------	------------

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

2024年3月期1Q	59,716,806株	2023年3月期1Q	59,699,645株
------------	-------------	------------	-------------

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料 2 ページ「(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(セグメント情報等)	8
(重要な後発事象)	9
3. 補足情報	9
受注の状況	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における世界経済は、コロナ禍からの正常化が進むとともに半導体等の供給制約も改善に向かい、全体として回復基調にあります。ロシア・ウクライナ問題の長期化や、高インフレに伴う金融引き締めが経済活動の重荷となるとともに、今後も米中対立等の地政学的リスク等も懸念されることから下振れリスクが拭えない状況です。

鍛圧機械製造業界におきましては、国外案件の減少により、当第1四半期連結累計期間の受注は前年同期比9.2%減の42,392百万円（一般社団法人日本鍛圧機械工業会プレス系機械受注額）となりました。

このような状況の下、当社グループの当第1四半期連結累計期間の受注高は、電気自動車向け高速プレス機の需要は堅調に推移するも、前年同期における駆け込み受注の反動により22,679百万円（前年同期比28.6%減）となり、受注残高は過去最高の76,155百万円（前年度末比8.3%増）となりました。

売上高については、電気自動車関連の高速プレス機の売上増加及び円安影響等により16,867百万円と前年同期比23.4%増となりました。

利益面では、原材料費、外注費、物流費等の原価高騰があったものの、増収及び製品ミックス改善による粗利率改善で、営業利益は671百万円（前年同期は営業損失121百万円）、経常利益は748百万円（前年同期は経常損失117百万円）、親会社株主に帰属する四半期純利益は473百万円（前年同期は親会社株主に帰属する四半期純損失175百万円）となりました。

セグメントごとの経営成績は以下のとおりであります。

日本：大型プレス機（個別機）の売上減少により売上高は8,546百万円（前年同期比4.2%減）となり、セグメント損益も売上不足や原価高騰等の影響により118百万円の損失（前年同期は97百万円のセグメント損失）となりました。

中国：前年度のロックダウンによる落込みの反動でプレス機械、サービス売上ともに増加し、売上高は3,544百万円（前年同期比100.0%増）となり、セグメント利益も増収により196百万円（同600.4%増）となりました。

アジア：アジア地域や米州拠点向け汎用プレス機売上の増加等により、売上高は2,893百万円（前年同期比31.3%増）となり、セグメント利益は増収と粗利率の改善等により338百万円（同252.6%増）となりました。

米州：大型プレス機（個別機）売上が減少し、売上高は3,235百万円（前年同期比11.4%減）となり、セグメント損益は製品ミックスの改善で粗利率は改善しましたが、全体の売上不足により16百万円の損失（前年同期はセグメント損失98百万円）となりました。

欧州：電気自動車関連の需要増加等によりプレス機械売上が増加し、売上高は4,482百万円（前年同期比120.6%増）となり、セグメント利益は原価高騰等で粗利率は低下しましたが、増収効果により79百万円の利益（前年同期は1百万円のセグメント損失）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の資産については、前年度末に比べて2,109百万円増加し、118,397百万円となりました。主な要因は、受取手形、売掛金及び契約資産、電子記録債権といった売上債権の減少2,974百万円、棚卸資産の増加1,675百万円、投資有価証券の増加1,641百万円、投資その他の資産その他の増加1,613百万円等です。

負債は、前年度末に比べて1,504百万円増加し、39,749百万円となりました。主な要因は、流動負債その他の増加1,225百万円等です。

純資産は、前年度末に比べて605百万円増加し、78,648百万円となりました。主な要因は、利益配当等による利益剰余金の減少1,448百万円、その他有価証券評価差額金の増加1,147百万円、為替換算調整勘定の増加1,302百万円等です。当第1四半期連結会計期間末の自己資本比率は66.4%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年5月15日に公表いたしました連結業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	30,510	30,522
受取手形、売掛金及び契約資産	22,506	18,621
電子記録債権	1,018	1,928
製品	4,387	4,785
仕掛品	17,022	18,005
原材料及び貯蔵品	4,456	4,752
その他	4,457	4,151
貸倒引当金	△1,837	△220
流動資産合計	82,522	82,547
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	26,737	27,327
減価償却累計額	△19,222	△19,591
建物及び構築物（純額）	7,514	7,736
機械装置及び運搬具	20,479	21,201
減価償却累計額	△15,092	△15,723
機械装置及び運搬具（純額）	5,387	5,477
土地	7,297	7,332
建設仮勘定	234	209
その他	4,245	4,469
減価償却累計額	△3,665	△3,836
その他（純額）	580	632
有形固定資産合計	21,015	21,389
無形固定資産	1,961	2,006
投資その他の資産		
投資有価証券	9,186	10,828
保険積立金	571	569
退職給付に係る資産	633	640
繰延税金資産	268	291
その他	161	1,774
貸倒引当金	△32	△1,649
投資その他の資産合計	10,788	12,455
固定資産合計	33,765	35,850
資産合計	116,287	118,397

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	6,942	6,832
電子記録債務	2,536	2,369
短期借入金	582	630
1年内返済予定の長期借入金	500	500
未払金	1,329	893
未払法人税等	345	292
契約負債	15,407	16,090
製品保証引当金	615	627
賞与引当金	961	560
役員賞与引当金	14	17
受注損失引当金	180	180
その他	2,470	3,696
流動負債合計	31,887	32,691
固定負債		
長期借入金	1,000	1,000
長期未払金	1,005	1,130
繰延税金負債	1,870	2,175
株式給付引当金	649	664
退職給付に係る負債	1,451	1,423
資産除去債務	9	9
その他	369	654
固定負債合計	6,356	7,058
負債合計	38,244	39,749
純資産の部		
株主資本		
資本金	7,831	7,831
資本剰余金	13,007	13,007
利益剰余金	55,205	53,757
自己株式	△5,247	△5,242
株主資本合計	70,796	69,352
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,994	5,142
繰延ヘッジ損益	△173	△567
為替換算調整勘定	3,463	4,766
退職給付に係る調整累計額	△130	△136
その他の包括利益累計額合計	7,155	9,204
新株予約権	91	91
純資産合計	78,043	78,648
負債純資産合計	116,287	118,397

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
売上高	13,665	16,867
売上原価	11,491	13,743
売上総利益	2,174	3,124
販売費及び一般管理費	2,295	2,453
営業利益又は営業損失(△)	△121	671
営業外収益		
受取利息	21	31
受取配当金	127	78
その他	24	16
営業外収益合計	173	126
営業外費用		
支払利息	4	8
為替差損	159	31
その他	5	8
営業外費用合計	169	49
経常利益又は経常損失(△)	△117	748
特別利益		
固定資産売却益	0	8
操業停止又は縮小に関わる助成金収入	7	—
特別利益合計	8	8
特別損失		
固定資産売却損	1	—
固定資産除却損	4	1
操業停止又は縮小に伴う損失	6	—
特別損失合計	11	1
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△120	755
法人税等	54	282
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△175	473
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△175	473

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△175	473
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△925	1,147
繰延ヘッジ損益	△401	△394
為替換算調整勘定	1,491	1,302
退職給付に係る調整額	△16	△6
その他の包括利益合計	148	2,048
四半期包括利益	△27	2,522
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△27	2,522

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

当連結会計年度の税金等調整前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税金等調整前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、「法人税、住民税及び事業税」及び「法人税等調整額」を「法人税等」として一括掲記しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						調整額 (注)1	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注)2
	日本	中国	アジア	米州	欧州	計		
売上高								
(1)外部顧客に対する売上高								
①プレス機械	3,198	1,539	944	2,952	1,364	9,998	—	9,998
②サービス	1,276	163	438	502	494	2,876	—	2,876
③その他	768	10	4	0	6	790	—	790
小計	5,243	1,712	1,387	3,456	1,865	13,665	—	13,665
(2)セグメント間の 内部売上高又は振替高	3,674	59	815	197	167	4,914	△4,914	—
計	8,917	1,772	2,203	3,653	2,032	18,580	△4,914	13,665
セグメント利益又は 損失(△)	△97	28	95	△98	△1	△73	△48	△121

(注) 1 売上高の調整はセグメント間取引高の消去額であり、セグメント利益又は損失(△)の調整額はセグメント間取引消去に伴う調整額であります。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失(△)と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						調整額 (注)1	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注)2
	日本	中国	アジア	米州	欧州	計		
売上高								
(1)外部顧客に対する売上高								
①プレス機械	2,575	3,174	1,491	2,638	3,124	13,004	—	13,004
②サービス	1,132	295	519	523	641	3,112	—	3,112
③その他	735	2	4	—	7	750	—	750
小計	4,442	3,472	2,016	3,162	3,773	16,867	—	16,867
(2)セグメント間の 内部売上高又は振替高	4,103	71	877	73	709	5,836	△5,836	—
計	8,546	3,544	2,893	3,235	4,482	22,703	△5,836	16,867
セグメント利益又は 損失(△)	△118	196	338	△16	79	479	191	671

(注) 1 売上高の調整はセグメント間取引高の消去額であり、セグメント利益又は損失(△)の調整額はセグメント間取引消去に伴う調整額であります。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

3. 補足情報

受注の状況

当第1四半期連結累計期間の受注実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	受注高		受注残高	
	金額 (百万円)	前年同期増減率 (%)	金額 (百万円)	前年度末増減率 (%)
日本	8,716	6.8	27,992	18.0
中国	3,212	△67.5	17,252	△1.5
アジア	1,427	△36.3	4,717	△11.1
米州	3,421	△37.3	10,948	2.4
欧州	5,901	△2.0	15,245	16.2
合計	22,679	△28.6	76,155	8.3

(注) 1. セグメント間取引については、相殺消去しております。

2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。